

全国に広がる

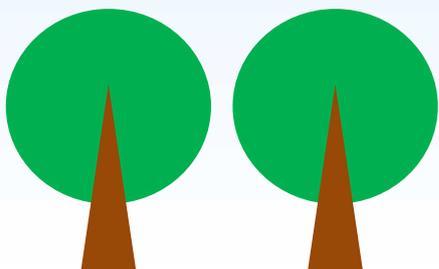


木の

学校

～木材利用

の事例集～



文部科学省
平成26年7月

近年、各地方公共団体の創意工夫により、地域の実情に応じた多くの「木の学校」がつくられています。

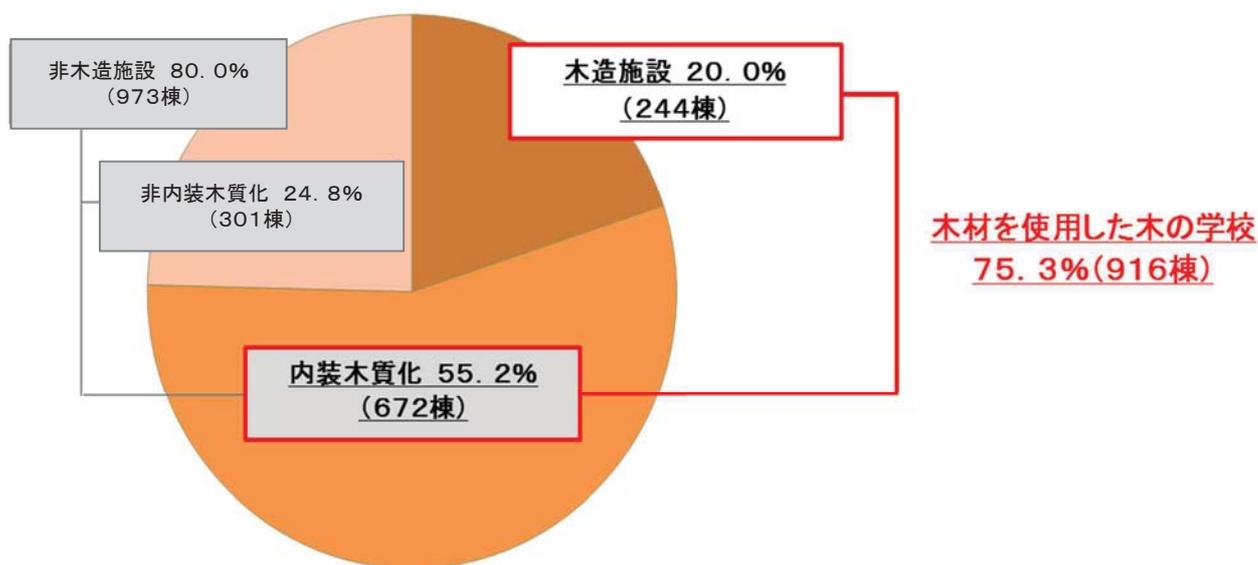
本事例集では、全国に広がる「木の学校」の中から、近年つくられた特色ある事例の一部を紹介しています。

今後の学校施設づくりの参考としていただければ幸いです。



木材を活用した学校づくりで 学習環境の改善！地域を元気に！

平成24年度に新しく建築された学校1,217棟のうち、916棟（75.3%）の建物で木材が使用されています。



（写真）八幡浜市立日土小学校（愛媛県）

昭和30年代に建築された木造校舎を、歴史的・文化的価値を損なわない範囲で、安全性を確保しつつ、現代的な教育環境となるよう改修した。国の重要文化財。

木材利用にはどんなメリットがあるのでしょうか？

学習環境が改善されます

- 柔らかで温かみのある感触や優れた調湿効果により、豊かで快適な学習環境が形成されます。
- 森林の保全、地域の産業や地球環境問題などについて学習する教材としての活用できます。



伐採した町有林での見学状況

地場産業の活性化につながります

- 地域材や地場の職人の技術の活用により、地域経済の活性化や地場産業の振興につながります。

地球環境の保全につながります

- 鉄やアルミニウム等に比べて、材料製造時に要するエネルギー量が少なく、炭素を貯蔵するため温暖化抑制に寄与します。

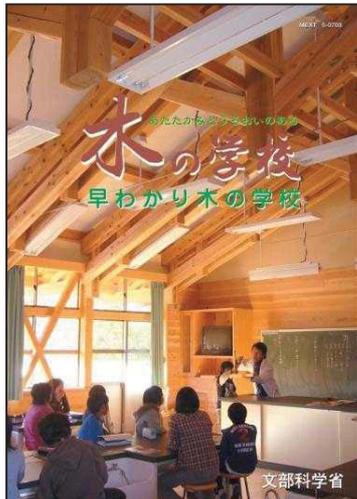


地元大学による丸太材の加工

地域の風土や文化に調和します

- 学校づくりを通じた、地域とのコミュニティ形成や木の文化の継承の機会を提供します。

このような報告書もあります



木の活用における課題解決の留意点などを解説した手引書。計画から建設後のメンテナンスまで、木材を活用した学校施設づくりに係る留意点について解説。
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyosei/mokuzai/1296284.htm

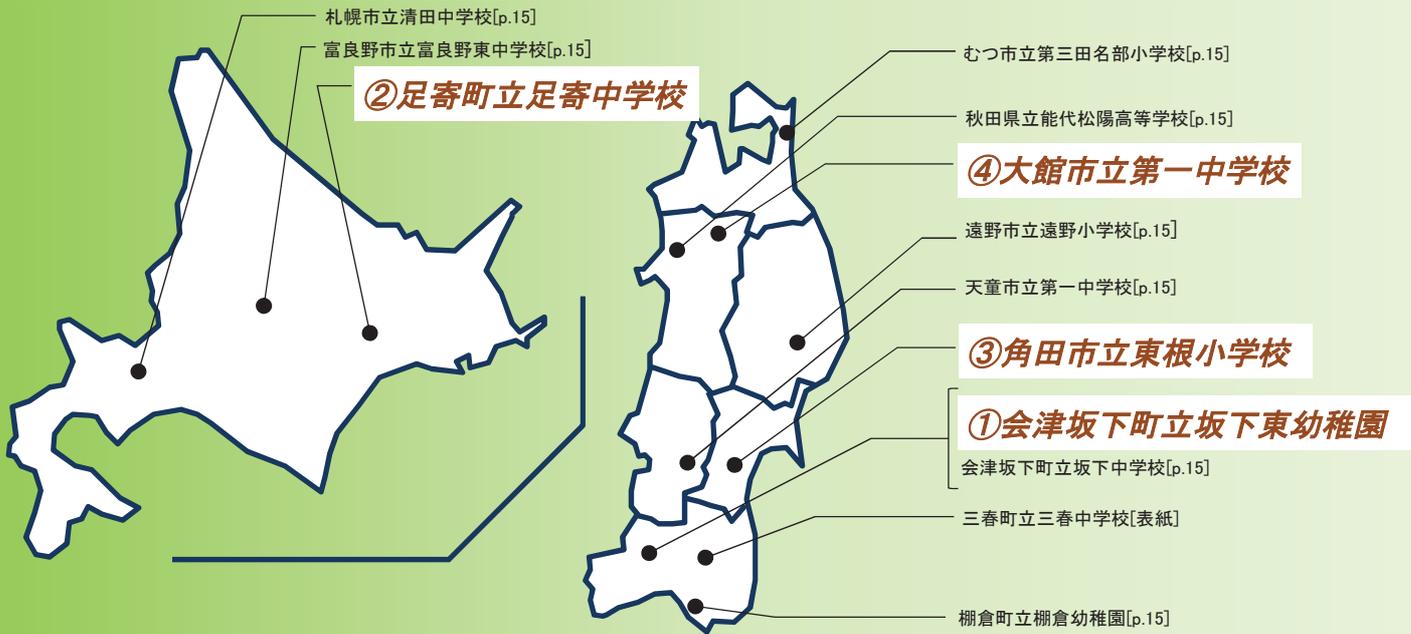
『あたたかみとうるおいのある木の学校
早わかり木の学校』
(平成19年 文部科学省)



木材利用の検討の進め方やコストの抑制の方法を中心に、その留意点を解説するとともに、工夫した事例を紹介。
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/05/attach/1294191.htm

『こうやってつくる木の学校
～木材利用の進め方のポイント、工夫事例～』
(平成22年 文部科学省・農林水産省)

北海道・東北



① 会津坂下町立坂下東幼稚園 (福島県河沼郡会津坂下町字上口705)



学校林をフル活用して木材を調達

ここに注目！

地域の人が育てた学校林を活用した事例です。
地域材などの活用は地場産業の振興、地域活性化にもつながるだけでなく、子供たちにとって生まれ育った地元の山々の自然や伝統的な地盤産業の学習の実教材にもなり、地域への理解、愛着を育むことに有効です。



のびのびと学び遊べる天井高さ5.7mの遊戯室

「地場産材を使い、地元の手で建築し、地域に根付いた幼稚園」をテーマに建築した。木材は、地域の人が育てた学校林で育った木材を積極的に活用した。丸太と4寸角の一般材を構造的に組み合わせた大きな空間と、デンや小さな読書スペースなどの小さな空間が共存している。



オープンスペースになっており、丸太で構成された遊戯室と一続きの空間



外観

建物区分: 園舎
構造規模: 木造 1階建て
延床面積: 1,380㎡
工期: 平成24年7月～平成25年3月
木材使用量: 478㎡

② 足寄町立足寄中学校 (北海道足寄郡足寄町里見が丘4-4)

木造

自然の光が差し込む明るい木の学校

自然光を取り込む光庭と吹き抜けを設け、校内をより明るくするよう工夫した。各室が、ロの字にめぐらされた廊下でつながり、開放的な雰囲気となった。

生徒からは「温かい、明るい、木は素晴らしい」との声があがっている。



多目的ホール



木造劣化を防ぐため外部露出を避けた外観

建物区分:校舎
構造規模:木造 2階建て
延床面積:1,057㎡
工期:平成24年4月～平成24年12月
木材使用量:562㎡

③ 角田市立東根小学校 (宮城県角田市平貫字前河2-1)

木造

建築にあわせて森林資源の大切さや 地球環境に与える影響を学習する

「地域の自然を理解し愛着を持つことで、環境を守り育てていくことの大切さを理解する」ことを活動目標として、校舎の建築とあわせて、「総合学習の時間」を活用して持続発展教育を行った。児童は、ふるさとのやまから木材が切り出され、新校舎を作っていく過程を学習することで、自然資源の大切さを学ぶことができた。



木のぬくもりを感じる廊下



持続発展教育の様子

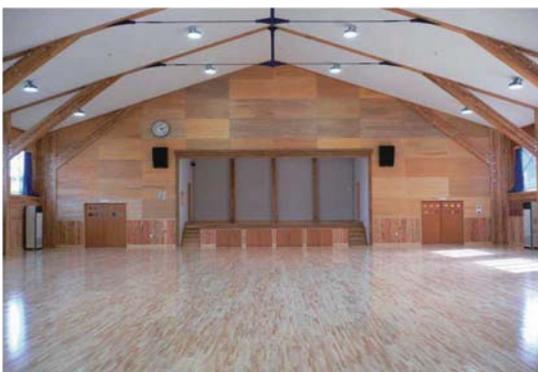
建物区分:校舎
構造規模:木造 1階建て
延床面積:392㎡
工期:平成23年8月～平成24年4月
木材使用量:82㎡

④ 大館市立第一中学校 (秋田県大館市北神明町10-1)

木造

断熱化に配慮した寒冷地域の学校

寒冷地域の学校であるため、冬場の対策に一層配慮が必要である。屋根の断熱化や開口部に断熱サッシを使用し、ガラスも複層ガラスを使用することにより、保温性・気密性の高い木造屋内運動場を実現した。



内観



柱・梁・方杖状況

建物区分:屋内運動場
構造規模:木造 1階建て
延床面積 647㎡
工期 平成24年10月～平成25年3月
木材使用量 189㎡

関東

③神流町立万場小学校

下仁田町立下仁田小学校[p.16]

上尾市立中央小学校[p.16]

草加市立栄小学校[p.16]

厚木市立南毛利中学校[p.17]

綾瀬市立綾瀬小学校[p.17]



鹿沼市立中央小学校[p.16]

①茂木町立茂木小学校

潮来市立潮来小学校[p.16]

④流山市立八木中学校

流山市立幼児教育支援センター付属幼稚園[p.16]

②中央区立中央小学校・幼稚園

板橋区立板橋第三中学校[p.16]

板橋区立板橋第一小学校[p.16]

板橋区立赤塚第二中学校[p.17]

① 茂木町立茂木小学校 (栃木県芳賀群茂木町大字茂木1621)

内装
木質化

老朽化した校舎を木質化でリニューアル



ここに注目！



近年の最重要課題の一つである老朽化対策について、内部を木質化することで効率的・効果的に豊かな教育環境づくりを進めた事例です。

鉄筋コンクリート造などの校舎を改修する時に、木材を利用することで温かみと潤いのある教室環境を創出することができます。

<改修前の状況>



普通教室



廊下と階段



改修後の普通教室。耐震ブレースも木材で囲まれた。

耐震補強、老朽対策のための改修を行った際に、伐期や間伐の時期を迎えている町有林を活用し、内装を木質化した。

老朽化していた教室の内部は、明るい雰囲気生まれ変わった。



改修後の廊下と階段

建物区分:校舎
構造規模:RC造 2階建て・3階建て
延床面積:5,347㎡
工期:平成23年7月～平成24年9月
木材使用量:86㎡

② 中央区立中央小学校・幼稚園

(東京都中央区湊1-4-1)

内装
木質化

都心の学校を木材で包み込む



普通教室の隣に設置されたテラス

教室をはじめとする室内空間はもちろん、テラスやバルコニーなどの室外空間にもふんだんに多摩産の木材等を使用することで、室内から連続性をもつ、天然の素材に包まれた学習空間となった。

木材を用いたテラスは、読書コーナーや情報ステーションとも連続し、学年間の交流や自然と触れあえる場となった。



建物中央に作られた吹き抜けを持つ大階段と展示スペース

建物区分:校舎、園舎
構造規模:RC造 5階建て
延床面積:12,203㎡
工期:平成22年10月～平成24年7月
木材使用量:272㎡

③ 神流町立万場小学校

(群馬県多野郡神流町万場84-2)

内装
木質化

小規模校を温かい雰囲気



机と椅子も木製で統一した普通教室

少人数学級は、通常、殺風景な雰囲気になりがちであるが、金属や合成樹脂の使用を減らし、県産の木材を用いて内装を木質化することで、温かみの感じられる内観とした。

多目的スペースには木製ベンチを配しており、児童が読書等を行えるよう工夫した。



明るい多目的スペース

建物区分:校舎
構造規模:RC造 3階建て
延床面積:1,993㎡
工期:平成23年7月～平成24年7月
木材使用量:23㎡

④ 流山市立八木中学校

(千葉県流山市古間木210-2)

木造

伝統的な雰囲気の中で武道を学ぶ



木材を多用した内観

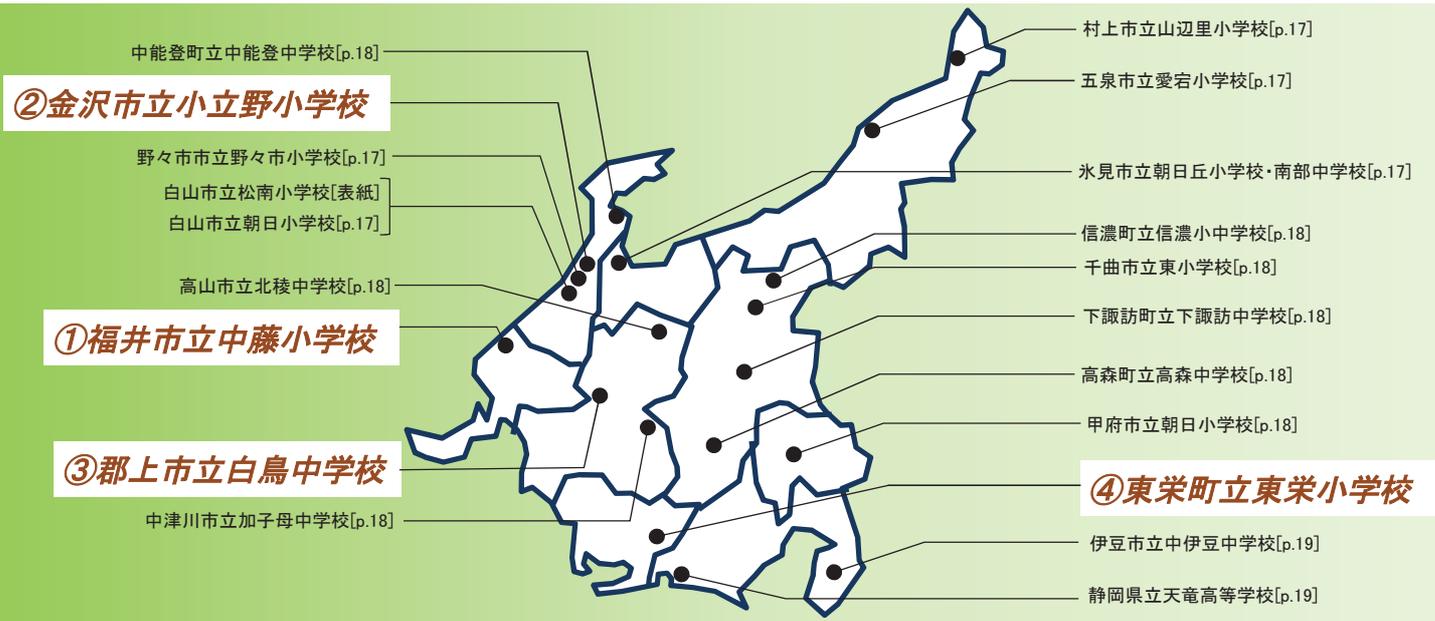
外観は切妻屋根やモノトーンの外壁を採用し、また、内部においても木材を多用することで、武道を学ぶにふさわしい伝統的な雰囲気を演出した。



落ち着いた雰囲気の外観

建物区分:武道場
構造規模:木造 1階建て
延床面積:609㎡
工期:平成25年4月～平成25年11月
木材使用量:116㎡

中部



① 福井市立中藤小学校 (福井県福井市高柳3-3001)

内装
木質化

ワークショップで地域に愛される学校に



ここに注目！

地域を含めた関係者と議論を深めながら木材を活用した学校施設整備を進めた事例です。

検討組織やワークショップにより、関係者の共通理解を図ることで、学校が地域コミュニティの核としての役割を果たすきっかけになります。



吹抜け部分の縦格子に県産木材(ヒノキ)を使用した図書室



児童と触れ合えるティーチャーステーション



低学年多目的スペースに隣接して配置された絵本コーナー

児童増加に伴う学校の移転建設にあたり、基本設計の参考とするため、ワークショップを実施した。

ワークショップでは、「コンクリートではなく、ぬくもりと安らぎのある木の内装にしてほしい」、「子どもたちの安全を考えて、木材の床にしてほしい」などの意見が出た。これら地域住民の意見を取り入れることにより、木材を多用し地域に愛される木の学校となった。

建物区分: 校舎、屋内運動場
構造規模: RC造 2階建て
延床面積: 10,768㎡
工期: 平成23年10月～平成25年3月
木材使用量: 281㎡

② 金沢市立小立野小学校 (石川県金沢市小立野4-7-7)

内装
木質化

豊かな教育環境を安価に実現

一般的な流通材を広く使用する一方で、一般開放される生活室や外壁の腰壁・格子には地域材を用いるなどメリハリのある木材利用を行った。また、規格材を多く用いたり、大空間の計画には比較的安価なベイマツの集成材を用いるなど、コストダウンに取り組んだ。



大階段へと続く、木の香り漂う開放的なホール



児童が日常的に自然と触れ合えるウッドデッキの校庭

建物区分: 校舎
構造規模: RC造2階建て、木造1階建て
延床面積: 6,199㎡
工期: 平成22年9月～平成24年6月
木材使用量: 525㎡

③ 郡上市立白鳥中学校 (岐阜県郡上市白鳥町為真761-1)

木造

雪の重さに負けない工法の選択

多雪地域で木造軸組在来工法での対応が難しいため、柱・梁材に大断面集成材を使用したラーメン構造で設計した。また、外壁は風雨雪に対して耐久性のあるカラーガルバリウム鋼板張りとした。



カラーガルバリウム鋼板張りの外壁



大断面集成材の柱のある図書室

建物区分: 校舎
構造規模: 木造・RC造 2階建て
延床面積: 4,729㎡
工期: 平成22年10月～平成24年2月
木材使用量: 1,670㎡

④ 東栄町立東栄小学校

(愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上桜平28-1)

木造

木造校舎で地元産業を学ぶ

林業が盛んな町の校舎を新築するにあたり、地元の森林組合と契約し材料を調達した。また、社会科の授業と結びつけ、校舎を例にとりながら地産地消について勉強するなど教育の実践にも活用されている。



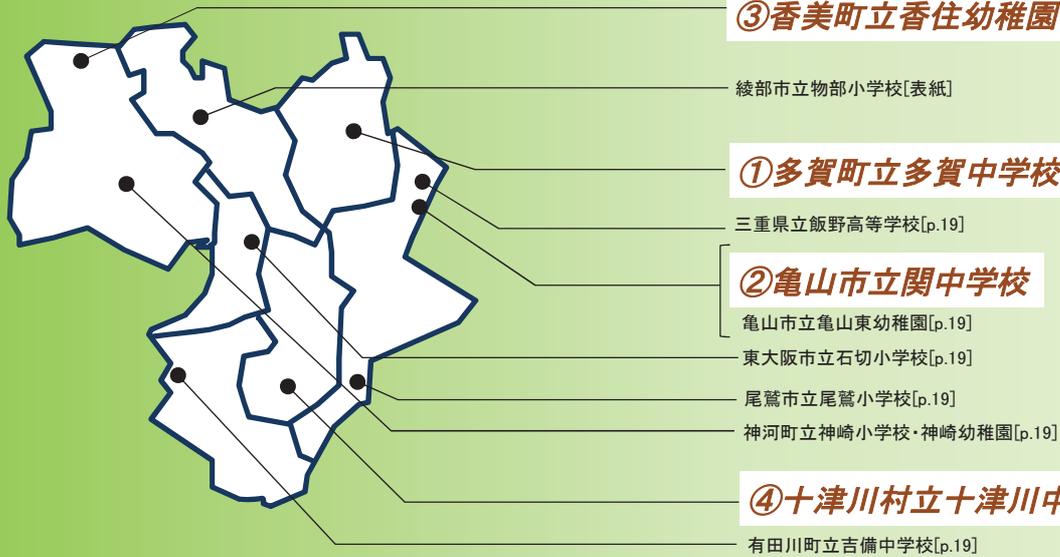
職員室から一直線に伸びた約100mの廊下



自然採光、自然通風を確保し解放感も感じられる普通教室の天井

建物区分: 校舎、屋内運動場、農具庫、飼育小屋
構造規模: 木造・RC造 1階建て
延床面積: 2,887㎡
工期: 平成24年8月～平成25年6月
木材使用量: 618㎡

近畿



① 多賀町立多賀中学校

(滋賀県犬上郡多賀町多賀210)



独自の「すだれ梁」で 地元の大工の技術を活かす

ここに注目！

独自のアーチ構法を採用することにより地元の大工の活用を図った事例です。

大工など地場の職人の技術を活用した建て方にするには、その建設に取組んだ職人の誇りや技術を育て、地場の伝統技術者の育成や地場産業の活性化につながります。



スギ材を使用し格子を造作した外観



大空間を確保した内観



木組みアーチ構法による「すだれ状の梁」

地元の大工が容易に加工できるサイズの角材を金物で「すだれ」のようにつなぎ合わせてスパン17mの梁を構成する「すだれ梁」を開発した。これにより、地元の大工が木造の大空間を確保することを可能にした。

また、地元の比較的短小な木材を使用できることから、長大な集成材の使用と比べ、コストを抑えることができた。加えて、「すだれ梁」がデザイン的にも優れているため、覆い等で隠す必要がなく、軽量化・コストダウンにつながった。

建物区分: 校舎
構造規模: 木造・RC造 1階建て
延床面積: 498㎡
工期: 平成23年6月～平成24年3月
木材使用量: 330㎡

② 亀山市立関中学校 (三重県亀山市関町新所1863)

木造

町並みに調和した趣のある木造校舎

旧東海道で唯一重要伝統的建造物群保存地区に選定された関宿の町並みや鈴鹿国定公園、周辺住宅地など周辺景観と調和を図るような外観とした。

中庭をはさんで学習スペースやメディアセンターなど生徒の活動空間を配置することで、異学年の生徒同士の交流によりにぎわう「街道」が生まれている。



山に向かって緩やかな弧を描き、関宿の街道をイメージさせている中庭



近隣する関宿の風景

建物区分: 校舎
構造規模: 木造・S造 2階建て
延床面積: 2,629㎡
工期: 平成21年6月～平成23年3月
木材使用量: 923㎥

③ 香美町立香住幼稚園 (兵庫県美方郡香美町香住区香住1595-9)

木造

町の木材を積極的に活用

木造校舎を建築するにあたり林業が主要な産業である町の木材を積極的に活用した。

また、本体工事と木材料を分離発注することにより木材のトレーサビリティを確保することで、流通ルートを明確にし、地産地消の促進に供した。



外壁には町内産の杉を使用



床フローリングと腰板に町内産ヒノキを使用した保育室

建物区分: 園舎
構造規模: 木造 1階建て
延床面積: 731㎡
工期: 平成24年12月～平成25年8月
木材使用量: 203㎥

④ 十津川村立十津川中学校 (奈良県吉野郡十津川村大字小原460)

木造

地元産の木の机や椅子で ぬくもりのある学校に

校舎はもちろんのこと、生徒の机や椅子、通学が遠距離で困難な生徒のための寄宿舎で使用する家具も地元産の木材を使用した。

木製の家具は手触りや感触が良く、木目がやさしいことから「授業に集中できる」との心理的効果も生まれているようである。



木のやさしく暖かみのある雰囲気のある普通教室



十津川産の家具を使用した寄宿舎

建物区分: 校舎、屋内運動場、寄宿舎
構造規模: 木造・RC造 2階建て
延床面積: 5,136㎡
工期: 平成22年7月～平成24年5月
木材使用量: 886㎥

④北広島町立豊平小学校

島根県立浜田高等学校[p.20]

美祿市立大嶺中学校[p.20]

愛媛県立みなら特別支援学校[p.20]

砥部町立砥部中学校[p.21]

大洲市立新谷小学校[p.20]

大洲市立大洲東中学校[p.21]

久万高原町立久万中学校[p.21]

①内子町立小田幼稚園・小学校・中学校

鬼北町立三島小学校[p.21]

②鳥取県立倉吉総合産業高等学校

鳥取県立鳥取工業高等学校[p.20]

③津山市立北陵中学校

倉敷市立真備東中学校[p.20]

丸亀市立岡田小学校[p.20]

勝浦町立勝浦中学校[p.20]

高知県立日高養護学校高知みかづき分校[p.21]

① 内子町立小田幼稚園・小学校・中学校

(愛媛県喜多郡内子町寺村557)



校舎の建設を通じて 地元の産業について学ぶ



ここに注目！

地元の基幹産業である林業について、その伐採から使用まで学校建設を通じて学ぶことができた事例です。木を用いた学校施設は、それ自体が大工の技術や木の特性を伝える直接的な教材となります。さらに、地球環境問題や地域学習の際は、木や森林の意義を親近感を持って強く意識させ、環境教育の教材としての働きも果たします。



校舎中庭



児童・生徒の校舎建て方の見学会

林業が町の基幹産業であることを活かし、児童・生徒向けに校舎に使用する木材の切り出し現場の見学を行った。その際、森林組合の職員から林業について詳しい話を聞くことができた。その後も、建設中の校舎の見学会など地元の木材が学校として活用されていく様子を見学することで、地元の産業をより身近なものとして学ぶことができた。

また、近隣学校との統合を予定していたため、これらの見学の場が児童・生徒の交流の場としても活用された。

建物区分：校舎、園舎、屋内運動場
構造規模：木造 2階建て・1階建て
延床面積：4,255㎡
工期：平成24年9月～平成25年2月
木材使用量：922㎡

② 鳥取県立倉吉総合産業高等学校

(鳥取県倉吉市小田204-5)

木造

鉄筋コンクリート造の建築計画 を木造で実現する



多目的に活用できる大きな空間。
ハイサイドライトからの採光によりとても明るい。

計画当初は鉄筋コンクリート造で検討されていたが、木材利用促進法の施行を受けて木造に変更した。大断面集成材による2方向ラーメン構造とすることで、鉄筋コンクリート造や鉄骨造と変わらない建て方、スパン割が可能となった。



柱に県産杉を使用した廊下

なお、鳥取県では、木造公共建築物の工事の発注にあたり、必要とする木材の数量等をホームページで公表し、円滑な木造調達につとめている。

建物区分:校舎
構造規模:木造 2階建て
延床面積:1,657㎡
工期:平成25年1月～平成26年3月
木材使用量:292㎡

③ 津山市立北陵中学校

(岡山県津山市大田160)

木造

地産地消を実現するための工法を採用



県産材焼杉板ウレタンクリア塗装品を使用し、耐久性と木材利用を両立した外壁

構造工法に拡張樹脂アンカー工法を採用したことで、従来工法では難しかった地域の木材を使用した大空間の確保が可能となり、地産地消を目的とした木材調達の実現と、地元業者による施工を可能とした。また、自重が軽いため、基礎のコストも低減した。



木材の接合部に金物が露出しない
温かみのある内観

建物区分:武道場
構造規模:木造 1階建て
延床面積:449㎡
工期:平成24年6月～平成25年2月
木材使用量:136㎡

④ 北広島町立豊平小学校

<併設型小中一貫校 豊平学園>

(広島県山県郡北広島町都志見字通采914)

木造

鉄筋コンクリートの校舎と比べて 環境の良さを実感



全ての児童が集会できる多目的ホール

町内初の小中一貫校で、既存の中学校校舎の敷地に併設して建築された。鉄筋コンクリート造の中学校校舎と比較して

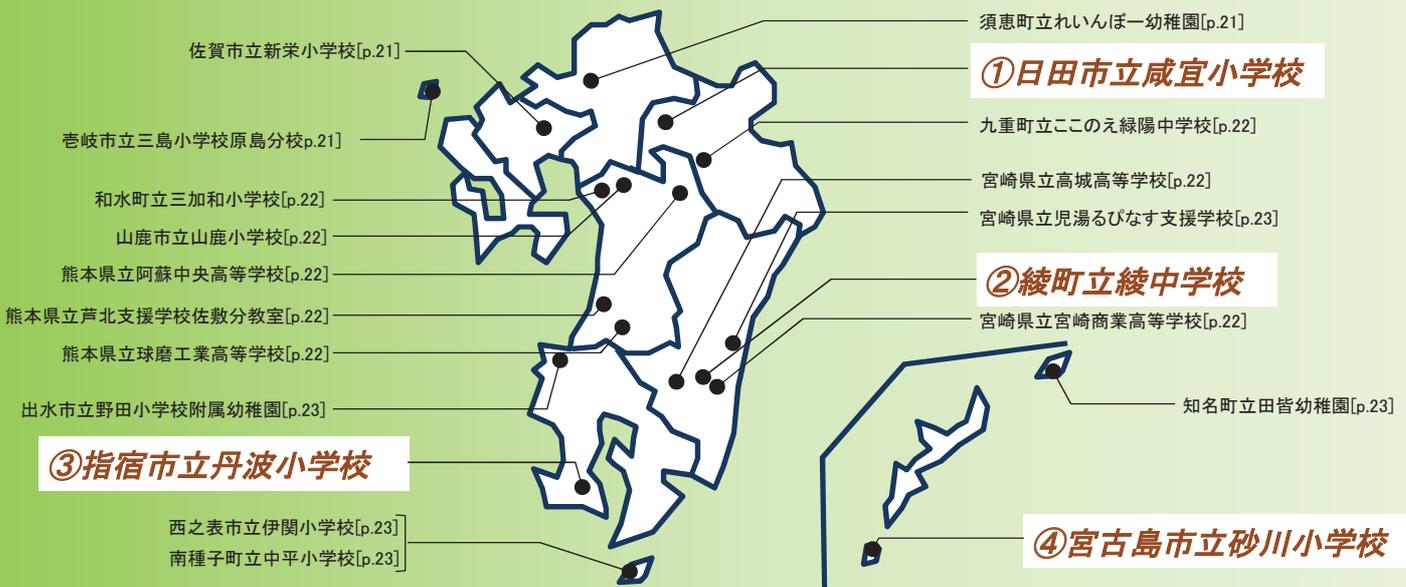
- ①冬場の室温が5度程度高い
- ②ストーブをつけた後、教室が暖くなるのが30分程度と早く、また、その状態が長く保たれる。

③床の温度と室温の差が小さく、足が冷えずに快適などの声が上がっている。

なお、校舎には、長さ14mの梁を採用した広々とした多目的ホールを設けるなど、小中一貫校としても使い勝手の良い施設となった。

建物区分:校舎
構造規模:木造・RC造 2階建て
延床面積:3,024㎡
工期:平成24年8月～平成25年9月
木材使用量:3,026㎡

九州・沖縄



① 日田市立咸宜小学校

(大分県日田市淡窓1-5-13)

木造

歴史的文化的な町並みに 調和する木の学校

ここに注目!

歴史的な町並みに調和した木造校舎の事例です。

学校は、地域コミュニティの核であり、最も身近な公共施設であるため、周辺の町並みとの調和も重要な要素のひとつです。

また、古い木造校舎は地域の象徴として地域から愛されているものも多くあります。



瓦屋根を使用した外観

国が選定する重要伝統的建造物群保存地区に隣接しており、周辺景観との調和を考慮し、木造の風合いを活かした外観意匠とした。

広瀬淡窓が設立した私塾「咸宜園」の伝統をくむ学校で、清掃の前後には児童が木の廊下に正座するのが伝統となっており、「以前の校舎と比較して、さらに丁寧に掃除をしてもらえるようになった」との声も聞かれる。



広々とした玄関ホール



机や椅子も日田産材の杉が使用されている普通教室

建物区分:校舎
構造規模:木造 2階建て
延床面積:1,485㎡
工期:平成22年3月～平成23年1月
木材使用量:430㎡

② 綾町立綾中学校
(宮崎県綾町大字北俣497-1)



**大規模な木造校舎に、
鉄筋コンクリート造校舎を効果的に配置**



将来のメンテナンスに配慮し1階部分のみに木材を利用した外壁

規模が大きな校舎で、全て木造とした場合、耐火建築物とする必要がある。しかし、中央部分に鉄筋コンクリート造の校舎を挟むことで、「別棟解釈」が適応され、木造部分を耐火・準耐火とする必要がなくなった。

このことで、部材の断面が小さい一般流通材の活用が可能となり、地元木材の活用につながるとともに、材料費を抑えることができた。



大断面の梁を見せることで、木質空間をダイナミックに演出した図書室

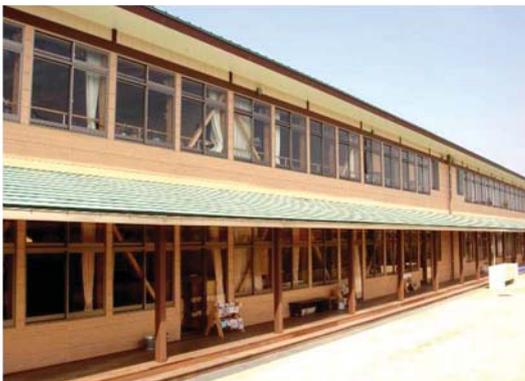
建物区分:校舎
構造規模:木造・RC造 2階建て
延床面積:3,254㎡
工期:平成25年5月～平成26年2月
木材使用量:489㎡

③ 指宿市立丹波小学校
(鹿児島県指宿市湯の浜3-2-6)



地域一体となった学校づくりの実現

建築にあたり、学識経験者のほかPTAや地域、教職員の代表で構成される建設検討委員会を開催し、様々な視点からの検討を行い、「木が香り 心が育つ丹波小 こんな学校で学びたい」というコンセプトに基づいた学校づくりを実現した。地元産の杉を多用しているが、やわらかく傷つきやすいので、床材として使うにあたり、高温で圧縮し、硬度を高めた圧密フローリングを使うなど工夫している。



地元木材を肌で感じられるよう設けられた木の柱廊



子供たちの憩いの場となる畳コーナー

建物区分:校舎
構造規模:木造 2階建て
延床面積:1,951㎡
工期:平成21年7月～平成22年7月
木材使用量:360㎡

④ 宮古島市立砂川小学校
(沖縄県宮古島市城辺字砂川605)



木の調湿作用で結露防止

湿度の高い沖縄の気候の中で内装木質化による木の調湿作用により、適度な湿度の環境を確保した。また、床の結露防止にも効果があり、湿度の高い時期にも転倒の危険性が少なくなった。



コミュニケーションの場となる廊下とベンチ



床だけでなく、壁一面に木材を使用した階段

建物区分:校舎
構造規模:RC造 2階建て
延床面積:1,905㎡
工期:平成23年8月～平成24年3月
木材使用量:101㎡

これまで紹介した事例以外にも多くの学校で木材を活用しています。

区分	写真	学校名 (所在地)	■建物区分 ■構造規模 ■延床面積 ■木材使用量
木造		札幌市立清田中学校 (北海道札幌市清田区清田3条3-7-1)	■武道場 ■木造 1階建て ■287㎡ ■66㎥
木造		富良野市立富良野東中学校 (北海道富良野市瑞穂町1-30)	■屋内運動場 ■木造 1階建て ■1,281㎡ ■291㎥
内装 木質化		むつ市立第三田名部小学校 (青森県むつ市大字田名部字赤川ノ内並木14-196)	■校舎、屋内運動場 ■RC造 2階建て ■6,606㎡ ■216㎥
木造		遠野市立遠野小学校 (岩手県遠野市東館町11-28)	■屋内運動場 ■木造 1階建て ■1,075㎡ ■123㎥
内装 木質化		秋田県立能代松陽高等学校 (秋田県能代市緑町4-7)	■校舎 ■RC造・木造 2階建て ■1,864㎡ ■344㎥
内装 木質化		天童市立第一中学校 (山形県天童市大字原町10-1)	■校舎、屋内運動場、武道場、その他(管理棟・接続棟) ■RC造 3階建て ■9,947㎡ ■212㎥
内装 木質化		会津坂下町立坂下中学校 (福島県河沼郡会津坂下町字惣六83)	■屋内運動場、武道場、多目的広場 ■RC造2階建て、木造1階建て、RC造1階建て ■1,785㎡、501㎡、311㎡ ■352㎥、142㎥、70㎥
木造		棚倉町立棚倉幼稚園 (福島県東白川郡棚倉町大字棚倉字宮下138)	■園舎 ■木造 1階建て ■1,490㎡ ■322㎥

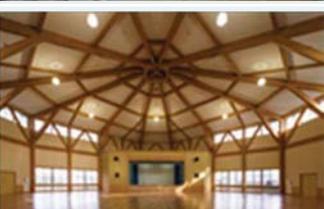
区分	写真	学校名 (所在地)	■建物区分 ■構造規模 ■延床面積 ■木材使用量
木造		潮来市立潮来小学校 (茨城県潮来市潮来471)	■校舎 ■木造 2階建て ■1,816㎡ ■553㎥
木造		鹿沼市立中央小学校 (栃木県鹿沼市今宮町1624)	■屋内運動場 ■木造 2階建て ■1,556㎡ ■281㎥
内装 木質化		下仁田町立下仁田小学校 (群馬県甘楽郡下仁田町大字下仁田73)	■校舎 ■RC造・木造 3階建て・2階建て ■4,045㎡ ■318㎥
内装 木質化		上尾市立中央小学校 (埼玉県上尾市上町1-15-4)	■校舎 ■RC造 4階建て ■4,435㎡ ■1,425㎡(壁・天井使用面積)
内装 木質化		草加市立栄小学校 (埼玉県草加市松原1-3-2)	■校舎 ■RC造 3階建て・4階建て ■11,164㎡ ■144㎥
木造		流山市立幼児教育支援センター附属 幼稚園 (千葉県流山市江戸川台東3-2)	■園舎 ■木造 1階建て ■589㎡ ■92㎥
内装 木質化		板橋区立板橋第三中学校 (東京都板橋区氷川町22-3)	■校舎、屋内運動場 ■RC造 5階建て ■9,563㎡ ■206㎥
内装 木質化		板橋区立板橋第一小学校 (東京都板橋区氷川町13-1)	■校舎、屋内運動場 ■RC造 4階建て ■9,322㎡ ■165㎥

区分	写真	学校名 (所在地)	■建物区分 ■構造規模 ■延床面積 ■木材使用量
内装 木質化		板橋区立赤塚第二中学校 (東京都板橋区成増3-18-1)	■校舎、屋内運動場 ■RC造 3階建て ■10,191㎡ ■168㎡
内装 木質化		厚木市立南毛利中学校 (神奈川県厚木市恩名2-16-1)	■校舎 ■RC造 3階建て ■2,432㎡ ■60㎡
内装 木質化		綾瀬市立綾瀬小学校 (神奈川県綾瀬市深谷中5-1-1)	■校舎 ■RC造 4階建て ■7,095㎡ ■82㎡
木造		五泉市立愛宕小学校 (新潟県五泉市石曾根8074-2)	■屋内運動場 ■木造・RC造 2階建て ■1,493㎡ ■277㎡
内装 木質化		村上市立山辺里小学校 (新潟県村上市日下1428)	■校舎、屋内運動場 ■RC造 3階建て・1階建て ■6,259㎡ ■114㎡
内装 木質化		氷見市立朝日丘小学校・南部中学校 <小中併設校> (富山県氷見市朝日丘3-1)	■校舎、屋内運動場、武道場 ■RC造 3階建て・2階建て・1階建て ■11,854㎡ ■206㎡
内装 木質化		白山市立朝日小学校 (石川県白山市鶴来日吉町口111)	■校舎、屋内運動場 ■RC造 2階建て ■10,075㎡ ■79㎡
内装 木質化		野々市市立野々市小学校 (石川県野々市市本町5-3-1)	■校舎、屋内運動場 ■RC造 4階建て ■9,774㎡ ■174㎡

区分	写真	学校名 (所在地)	■建物区分 ■構造規模 ■延床面積 ■木材使用量
内装 木質化		中能登町立中能登中学校 (石川県鹿島郡中能登町良川け部1-1)	■校舎、屋内運動場 ■RC造 3階建て ■18,186㎡ ■208㎡
内装 木質化		甲府市立朝日小学校 (山梨県甲府市塩部1-4-1)	■校舎 ■RC造 3階建て ■4,064㎡ ■62㎡
内装 木質化		下諏訪町立下諏訪中学校 (長野県諏訪郡下諏訪町5480)	■屋内運動場 ■S造 1階建て ■614㎡ ■28㎡
内装 木質化		高森町立高森中学校 (長野県下伊那郡高森町下市田2200-1)	■校舎、屋内運動場、武道場 ■RC造 2階建て・3階建て ■11,669㎡ ■287㎡
内装 木質化		信濃町立信濃小中学校 (長野県上水内郡信濃町大字古間491)	■校舎、屋内運動場 ■RC造・S造 3階建て・2階建て ■9,015㎡ ■239㎡
内装 木質化		千曲市立東小学校 (長野県千曲市大字森100)	■校舎、屋内運動場 ■RC造 2階建て ■7,727㎡ ■1,227㎡
木造		高山市立北稜中学校 (岐阜県高山市上宝町本郷652)	■校舎 ■木造・S造 2階建て ■2,004㎡ ■703㎡
木造		中津川市立加子母中学校 (岐阜県中津川市加子母3357)	■武道場 ■木造 1階建て ■186㎡ ■42㎡

区分	写真	学校名 (所在地)	■建物区分 ■構造規模 ■延床面積 ■木材使用量
内装 木質化		静岡県立天竜高等学校 (静岡県浜松市天竜区二俣町二俣601)	■校舎、屋内運動場、武道場 ■S造3・4階建て、RC造・木造2階建て ■15,880㎡ ■676㎡
内装 木質化		伊豆市立中伊豆中学校 (静岡県伊豆市八幡407)	■屋内運動場 ■RC造・木造 2階建て ■1,289㎡ ■142㎡
木造		三重県立飯野高等学校 (三重県鈴鹿市三日市町東新田場1695)	■校舎 ■木造 2階建て ■555㎡ ■188㎡
木造		亀山市立亀山東幼稚園 (三重県亀山市本町1-9-17)	■園舎 ■木造 1階建て ■763㎡ ■112㎡
内装 木質化		尾鷲市立尾鷲小学校 (三重県尾鷲市中村町4-58)	■校舎 ■S造 2階建て ■1,841㎡ ■469㎡
内装 木質化		東大阪市立石切小学校 (大阪府東大阪市中石切町1-6-50)	■校舎 ■RC造 2階建て ■510㎡ ■13㎡
木造		神河町立神崎小学校・神崎幼稚園 (兵庫県神崎郡神河町粟賀町611)	■校舎・園舎 ■木造・RC造 2階建て・1階建て ■6,316㎡ ■1,283㎡
木造		有田川町立吉備中学校 (和歌山県有田郡有田川町下津野1223-1)	■武道場 ■木造 1階建て ■726㎡ ■134㎡

区分	写真	学校名 (所在地)	■建物区分 ■構造規模 ■延床面積 ■木材使用量
木造		鳥取県立鳥取工業高等学校 (鳥取県鳥取市生山111)	■校舎 ■木造 2階建て ■2,229㎡ ■420㎥
内装 木質化		島根県立浜田高等学校 (島根県浜田市黒川町3749番地)	■屋内運動場 ■RC造 3階建て ■5,336㎡ ■90㎥
木造		倉敷市立真備東中学校 (岡山県倉敷市真備町辻田60-1)	■武道場 ■木造 1階建て ■489㎡ ■171㎥
内装 木質化		美祢市立大嶺中学校 (山口県美祢市大嶺町東分3020)	■校舎 ■RC造・木造 2階建て ■4,164㎡ ■129㎥
内装 木質化		勝浦町立勝浦中学校 (徳島県勝浦郡勝浦町大字久国字久保田45-1)	■校舎 ■RC造 2階建て ■5,581㎡ ■227㎥
内装 木質化		丸亀市立岡田小学校 (香川県丸亀市綾歌町岡田下217)	■校舎 ■RC造 3階建て ■3,946㎡ ■55㎥
木造		愛媛県立みなら特別支援学校 (愛媛県東温市見奈良1545)	■校舎 ■木造・S造 2階建て ■1,851㎡ ■320㎥
木造		大洲市立新谷小学校 (愛媛県大洲市新谷町甲190-2)	■校舎 ■木造・RC造 2階建て ■2,065㎡ ■513㎥

区分	写真	学校名 (所在地)	■建物区分 ■構造規模 ■延床面積 ■木材使用量
木造		大洲市立大洲東中学校 (愛媛県大洲市八多喜町甲1225)	■屋内運動場 ■木造・RC造 1階建て ■881m ² ■284m ³
木造		久万高原町立久万中学校 (愛媛県上浮穴郡久万高原町久万600)	■武道場 ■木造 1階建て ■590m ² ■237m ³
木造		鬼北町立三島小学校 (愛媛県北宇和郡鬼北町大字延川43-1)	■屋内運動場 ■木造 2階建て ■874m ² ■252m ³
内装 木質化		砥部町立砥部中学校 (愛媛県伊予郡砥部町千足68)	■校舎、屋内運動場、部室棟、屋内便所棟、武道場 ■RC造 3階建て ■11,081m ² ■109m ³
木造		高知県立日高養護学校高知みかづき分校 (高知県高知市中万々88)	■校舎 ■木造 2階建て ■638m ² ■147m ³
木造		須恵町立れいんぼ一幼稚園 (福岡県糟屋郡須恵町大字旅石523)	■園舎 ■木造 1階建て ■2,012m ² ■395m ³
木造		佐賀市立新栄小学校 (佐賀県佐賀市新栄東二丁目6-34)	■校舎 ■木造 1階建て ■950m ² ■250m ³
木造		吉崎市立三島小学校原島分校 (長崎県吉崎市郷ノ浦町原島305)	■屋内運動場 ■木造 1階建て ■347m ² ■108m ³

区分	写真	学校名 (所在地)	■建物区分 ■構造規模 ■延床面積 ■木材使用量
木造		熊本県立阿蘇中央高等学校 (熊本県阿蘇市一の宮町宮地2460)	■屋内運動場 ■木造 1階建て ■867m ² ■223m ³
木造		熊本県立球磨工業高等学校 (熊本県人吉市城本町800)	■校舎(管理棟) ■木造 2階建て(一部RC造) ■999m ² ■507m ³
木造		和水町立三加和小学校 (熊本県玉名郡和水町板楠1001)	■校舎(増築部分)、屋内運動場 ■木造 1階建て ■2,184m ² ■735m ³
内装 木質化		山鹿市立山鹿小学校 (熊本県山鹿市山鹿351)	■校舎、屋内運動場 ■RC造2階建て、RC造1階建て ■5,897m ² ■814m ³
内装 木質化		熊本県立芦北支援学校高等部佐敷分 教室 (熊本県葦北郡芦北町乙千屋20-2)	■校舎 ■RC造 3階建て ■633m ² ■24m ³
内装 木質化		九重町立このえ緑陽中学校 (大分県玖珠郡九重町大字後野上17-3)	■校舎・屋内運動場 ■RC造 3階建て ■6,860m ² ■302m ³
木造		宮崎県立宮崎商業高等学校 (宮崎県宮崎市和知川原3-24)	■武道場 ■木造 1階建て ■235m ² ■46m ³
木造		宮崎県立高城高等学校 (宮崎県都城市高城町穂満坊156)	■校舎(教室棟) ■木造 1階建て ■178m ² ■28m ³

区分	写真	学校名 (所在地)	■建物区分 ■構造規模 ■延床面積 ■木材使用量
木造		宮崎県立児湯るびなす支援学校 (宮崎県児湯郡新富町日置1297)	■校舎(作業棟・給食棟) ■木造 1階建て ■305m ² ■92m ³
木造		出水市立野田小学校附属幼稚園 (鹿児島県出水市野田町上名347-1)	■園舎 ■木造 1階建て ■417m ² ■105m ³
木造		西之表市立伊関小学校 (鹿児島県西之表市伊関461-1)	■校舎 ■木造 2階建て ■1,179m ² ■331m ³
木造		知名町立田皆幼稚園 (鹿児島県大島郡知名町田皆1655)	■園舎 ■木造 1階建て ■572m ² ■290m ³
木造		南種子町立中平小学校 (鹿児島県熊毛郡南種子町中之上2427)	■校舎 ■木造 2階建て ■2,930m ² ■578m ³

木材を活用した学校づくりのための補助制度があります

公立幼稚園，小学校，中学校，特別支援学校

文部科学省の支援事業が活用できます

補助率：新增築… 1 / 2

：改築，長寿命化改修，大規模改造，木の教育環境施設の整備… 1 / 3

○木造施設を整備する場合、補助単価を5.0%加算（※A+Bに該当する場合）

○内装木質化を行う場合、補助単価を2.5%加算（※Aに該当する場合）

- A 環境を考慮した学校施設（エコスクール）として認定を受けて床や壁などを木の仕上げとする場合、補助単価を2.5%加算
B 地域材を活用して木造施設を整備する場合、補助単価を2.5%加算

内装木質化部分が切り分けられる場合、林野庁や国土交通省の事業も併用可能です。

公立高等学校

林野庁や国土交通省の支援事業が活用できます

- ・地方公共団体が策定する木材利用方針に基づき、モデル的な木造施設の整備及び内装木質化に対して、1 / 2以内を補助。（林野庁）
- ・先導的な設計・施工技術を導入する大規模木造建築物等の整備に対して、木造化・内装木質化することによるかかり増し工事費用の1 / 2を補助。（国土交通省）

その他（全学校種共通）

林野庁の支援事業が活用できます

- ・設計や木材調達等に当たっての問題解決のため、専門家の知見をかりたり、関係者を交えたワークショップを開いたりする場合、定額を補助。

【問合せ先】

文部科学省

大臣官房文教施設企画部施設助成課 03-5253-4111（内線2051）

林野庁

林政部木材利用課木造公共建築物促進班 03-3502-8111（内線6127）

国土交通省

住宅局住宅生産課木造住宅振興室開発係 03-5253-8111（内線39-422）

木の学校に係る法整備が進んでいます

地方公共団体は木材利用に努める必要があります

平成22年10月に施行された「公共建築物における木材の利用の促進に関する法律」（木材利用促進法）では、地方公共団体の責務として、「木材利用促進に関する施策を策定・実施し、公共建築物における木材の利用に努める」こととされています。

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律
(平成二十二年五月二十六日法律第三十六号)

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、その区域の経済的社会的諸条件に応じ、国の施策に準じて木材の利用の促進に関する施策を策定し、及び実施するよう努めるとともに、その整備する公共建築物における木材の利用に努めなければならない。

建築基準法の一部が改正されました

これまで耐火構造としなければならなかった3,000㎡を超える建築物や3階建ての学校等について、一定の防火措置を講じた場合には準耐火構造等にできるように建築基準法における木造建築基準が見直されることとなりました（公布：平成26年6月4日、施行：公布後1年以内）。

【改正内容】《法第21条、法第27条》

以下の場合に、大断面木材などを活用して耐火性の高い材料で被覆する等の措置によらずに準耐火構造等にできることとする。

- ① 延べ面積が3,000㎡を超える大規模な建築物について、火災の拡大を3,000㎡以内に抑える防火壁等を設けた場合 《法第21条》
- ② 3階建ての学校等について、天井の不燃化又は庇・バルコニーの設置など、区画を超えた早期の延焼を防止する措置を講じた場合《法第27条》

【表紙掲載学校】



三春町立三春中学校

(福島県田村郡三春町大字貝山字泉沢100-4)

100畳の広々とした武道場や弓道場を日本
的な木造により整備したことで、伝統的な
雰囲気となった。

綾部市立 物部小学校

(京都府綾部市物部町
北前田51)

昭和11年に建設さ
れた歴史的な木造校
舎を、耐震補強する
とともに、木の文化
継承という観点を
もって改修した。



白山市立松南小学校

(石川県白山市菅波町1171-1)

地元産のスギなどの木材をふんだんに使用
した内装にすることで、温かみのある学校
となった。また、児童が地元の林業につい
て関心を持つきっかけにもなった。

お問い合わせ

文部科学省 大臣官房文教施設企画部 施設助成課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL 03-5253-4111 (代表) 2051 (内線)

FAX 03-6734-3743 E-mail: sisetujo@mext.go.jp